



ヨコハマ市民まち普請事業

第2次整備提案書

※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やすべく、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1 整備提案の概要について

整備提案名	荒磯川源流の日本庭園・清流復活
提案グループ名	茅ヶ崎公園・緑道愛護会
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	都筑区茅ヶ崎南1~3丁目
整備したい施設の 概要	<p>掘り起こした荒磯川源流庭園をきっかけに新しい地域の交流拠点をつくる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新しい源流庭園の水域づくり（粘土を使って探りながらつくる） 2. ソーラ方式による取水システムの設置（身近に環境を考える施設をつくる） 3. 源流の一体感を高め景観の良いところへのベンチづくり 4. 源流庭園づくりの「呼びかけ成果の広報に使う」身近な掲示板づくり 5. 崖地の土砂流失を防ぎ季節変化を楽しむ植栽（梅、クマザサなど）
整備助成金申請 予定額	500万円
設計及び整備の スケジュール	<p>08年5月：ボーリングおよび取水量検討、取水許可申請、取水枠設計</p> <p>08年6月：設備設計および手配、造園検討および設計</p> <p>08年7月：取水枠掘削、構築、雨水枠と雨水管の清掃</p> <p>08年8月：池づくり（粘土塗り）、設備構築、造園工事</p> <p>09年2月：補修および完成検査</p>

2 創意工夫について

計画について、特 に工夫した点を記 入してください。 (住民等が持つ発 想、方法などを生か したアイデアやユニ ークさ及びデザイン への配慮)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報発信の工夫：今回の取り組みを広く伝えるために区役所ロビーとシ アハウス・ドナージュにて写真展「茅ヶ崎公園とまち普請」を実施した。 また、現場見学会を実施し、まち普請計画を説明した。 2. 意向収集の工夫：本取り組みを子どもから大人まで多くの人に知らせる ため、そしてすばらしいアイデアを募るために、将来のイメージを絵日記に 表現して頂いた。実施した機会と集まった絵日記の枚数は次の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ・現地説明会の際に主に子供達（29枚） ・写真展（区役所ロビー）を通じて主にお母さん達（4枚） ・そのほか自分たちで（5枚） 絵日記情報は活動動機と活動場所名を分析し、付加価値向上は、 池づくりと、コミュニケーションへの取組みを課題にした。 3. 計画内容の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・池の復元と庭園の復元を生かし、日本庭園のある静かなたたずまい を生かし、バントのあるミニティな場所をつくる。 ・下流に位置する自然生態園は、外来種の侵入防止が必要で、かつ、 水を流す荒磯川は少量の水では浸透してしまう小川なので、高額に なる水域づくりは止め、水域は池だけを復元する内容とした。 ・取水はボーリング調査で湧水を確認（3mで900L/D）したが、 実施設計で再確認する。 ・既存の雨水集水施設を調査し、洗浄して使う案とした。
--	---

	・設備は自然に優しいエコシステム(リーフ・ポンプ)案とした。
--	--------------------------------

<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。 ※ 詳細については、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<p>1. コミュニケーションの推進に休憩用ベンチ・デッキ、情報提供と交流のための目安箱や掲示板を設ける計画とした。 2. 庭園工事に関わった人の情報をもとに設計図を探し、池づくりの方法や範囲、造園イメージ、ベンチの設置位置等を現場で論議した。 3. 池づくりは防水シートを敷設する案を変更し、大人と子供が一緒になって池の底に粘土を塗る案とし、努力して成果を味わう、コミュニケーションを推進する案とした。 4. 取水が可能か、については人づての情報で判断せず、ボーリング調査で得た実データで検討した。</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営^{注5)}計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。 注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<p>1. 設備後の取り組みとしては、掲示板には復活地域の説明とイベントなどの新規情報を掲示する。取り組み骨子としては「運命、出会い、支えあい、分かち合い」を掲げた。 2. イベントについては、コミュニティ・カレンダーを作成し、絵画教室、撮影会、俳句や和歌を作る会の発足を目指している。 3. ポンプと電気は設備の維持管理を公園愛護会で行うので、維持管理負担の少ないリーフ・ポンプ方式を採用した。 4. 洗浄後の雨水集水施設は、雨水集水管への土砂流入対応にフィルター設置を計画し、枠に溜まる土砂の取除き作業は愛護会活動に組入れた。 5. 維持管理は土木事務所と連絡を密にして、連携しながら進めてゆく。 6. 活動の継続は、6項の地域まちづくりへの発展の方法で展開する。</p>

3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<p>1. まち普請への取組みは、早くから公園愛護会活動や自治会活動、地域同好会活動を通じ説明した。また、説明会開催、写真展を通じ、絵日記の形で要望を聞くことで展開したが、今後も今迄と同様に情報を公開し同意を得ながら進めてゆく。 2. 土木事務所と協議した事柄からの提言もあり、隣接の自然生態園に水を流さない内容で、自分たちの手で池づくりを行う案とした。 3. リーフ・ポンプの採用にあたっては、納入事例を調べ、武蔵野市の学校で、1年以上の稼動を確認した。</p>
--	--

4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。 * 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>まち普請への取組みは公園愛護会活動や自治会活動、地域同好会活動を通じ説明したが、ニュータウンとしての旧住民と新住民とのコミュニケーションの活性化を求める声、地域防犯への取り組み要望などもあって、提出いただいた「絵日記」の分析（池とコミュニケーションへの要望が多かった）とあわせ、要望への対応と地域への貢献を以下の通り具現化した。</p> <p>1. 庭園の復活は原形を踏襲しつつ、景観を整えて新たな見所にする。 2. 庭園が旧住民とマンションに入居の新住民とのコミュニケーションの架け橋となるよう、家族やグループが楽しむコミュニティ整備とした。 3. 自然生態園の条件に対応した。 4. 庭園の復活地域は子供の遊ぶ場、学ぶ場になる。 5. 設備はエコシステムを採用する。 6. 対象の場所は、自然生態園の柵で人が訪れにくく、防犯への取り組みが要望されていたので、仕掛け（池の復活や、休憩場所を用意する等）</p>
---	---

	で、人が訪れ、コミュニケーションが行われる場所にした。
--	-----------------------------

5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。 (材料の調達方法や施工業者への発注方法など) ※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 既存施設の復活（復元）により、限られた費用で最大限の公園の付加価値向上を図った。その一つが、人の訪れるコミュニケーションのある地域づくりとなって、地域の防犯につながるという、という内容である。 池底のコンクリート修復は、造成や防水シートの敷設とせず、皆で粘土を塗る案とした。 既存施設の雨水集水溝と枠を洗浄して使用することとした。 自然を守る中で池の復活を安価に行う、を命題に市販品利用、エコ対応、保全対応、シンプル対応、の観点からリーラポンプによる取水、越流水を荒磯川に浸透させる方法を選択した（水循環システムをやめた）
--	--

6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> まわりの谷戸や山桜、梅林、紅葉樹木の景観とバランスがとれ、四季を通じて楽しめる源流庭園にした。 新たな景勝地づくりとして取り組み、訪れる人、公園愛護会活動への参加者を増やす。 水域としての池や荒磯川は湿地帯域に位置づけ、鳥の飛来増加を楽しめるようにする。 公園の一角に水のある源流庭園が復活し、休憩用ベンチ・デッキを用意し、情報提供への目安箱、掲示板も設け、コミュニケーション・カレンダーによる催しも開催するなど人の集まるコミュニティ地域に変貌させ、治安の良い所にする。 大人と子供が一緒になって造った池づくりの輪を、小学校やPTAの協力を得ながら「復活した池に生息する生物を観察する」などの活動に育てる。
---	---

7 特にPRしたい点について

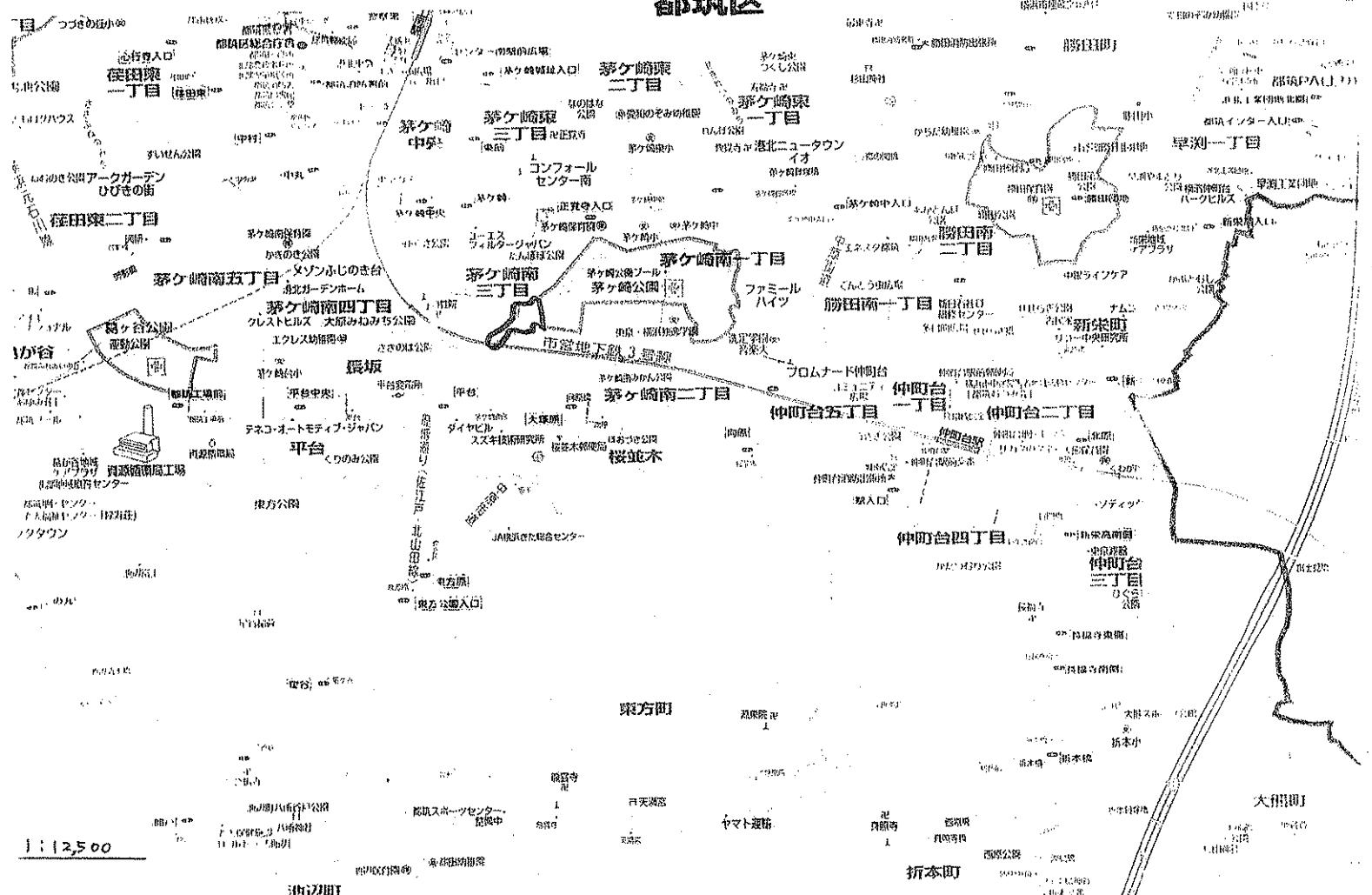
<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 掘り起こした源流跡と庭園跡は、価値のある市民の財産であり、庭園復活をきっかけとした新たな源流庭園づくりは、茅ヶ崎公園および地域全体に新たな付加価値（景観の向上、水域の誕生、新しいコミュニティの誕生、地域治安の向上、等）となり、コミュニケーションを活発にする。 休憩場所を用意し、掲示板を設け、コミュニケーション・カレンダーを計画して、家族やグループが楽しめる、新たなコミュニケーション地域へと変革してゆく、としたことだが、絵日記を分析して取り組みを明確にしたことの意義は大きい。 子供と大人が一緒になって、活動し、学ぶといった、子供と大人がつながるコミュニケーション活動を育てる。
-------------------------------------	--

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報は含まれていません。

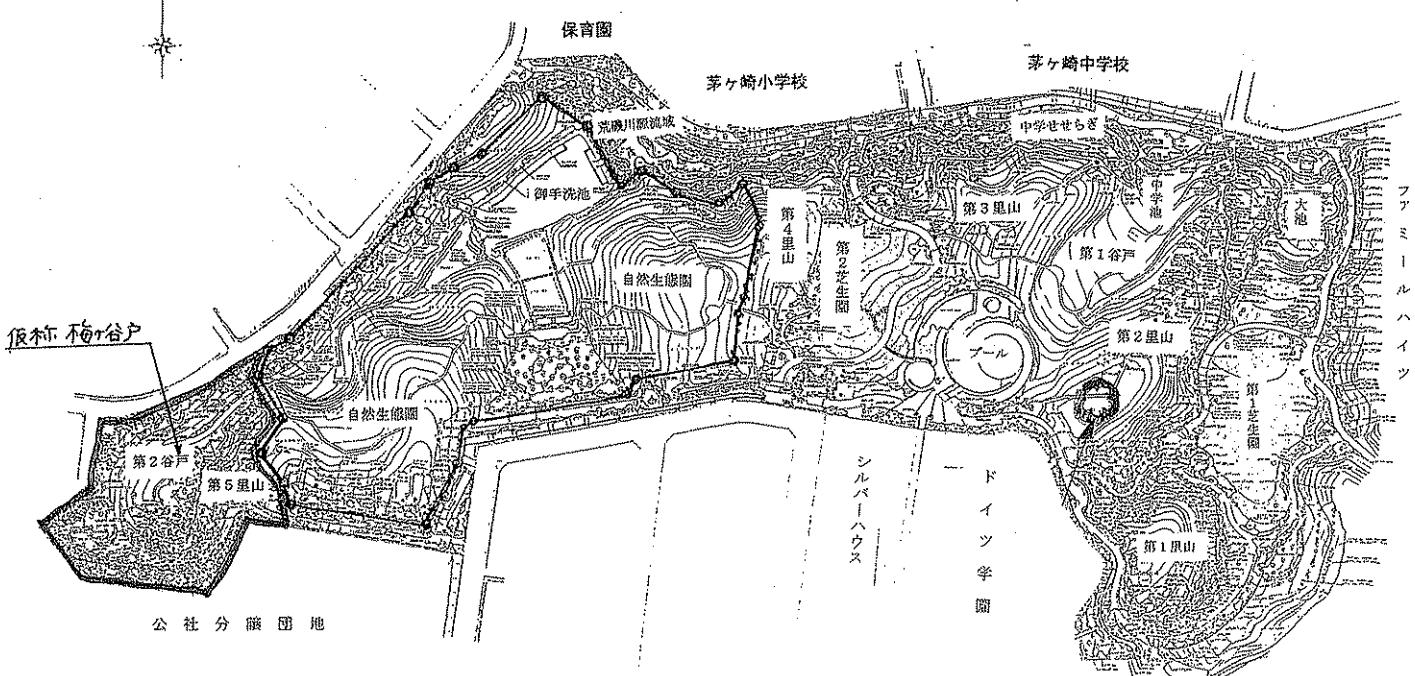
位置図：整備場所：都筑区茅ヶ崎南1～3丁目（茅ヶ崎公園）

都筑区



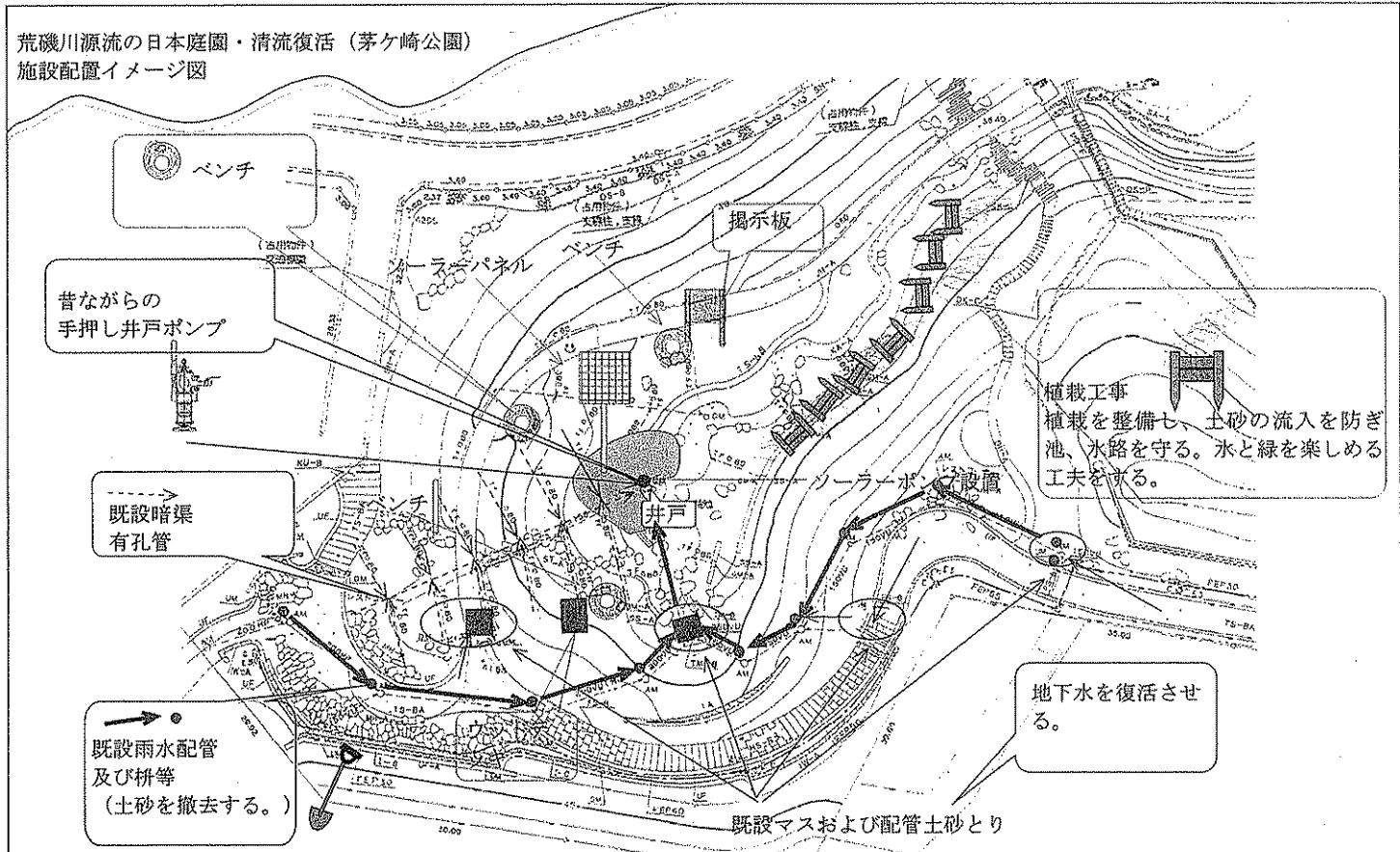
茅ヶ崎公園

荒磯川源流の日本庭園清流復活（仮称梅ヶ谷戸）

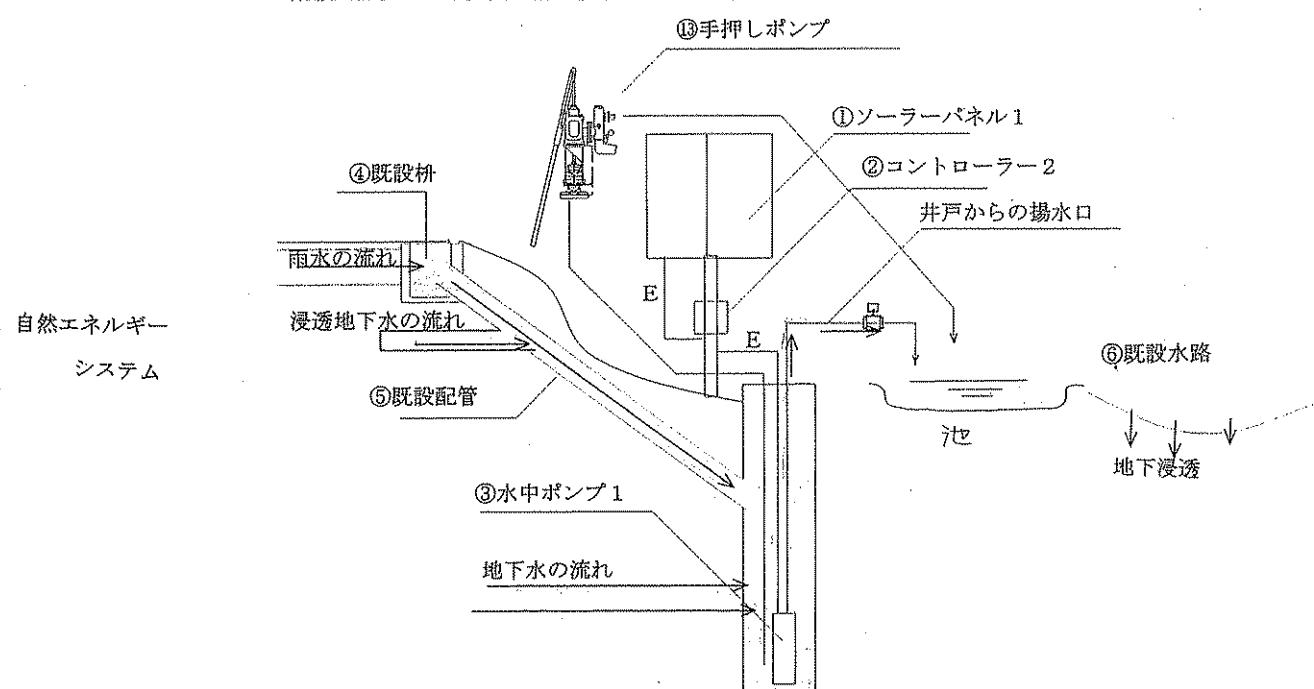


荒磯川源流の日本庭園・清流復活（茅ヶ崎公園）

施設配置イメージ図



荒磯川源流の日本庭園・清流復活（茅ヶ崎公園）



ヨコハマ市民まち營業事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

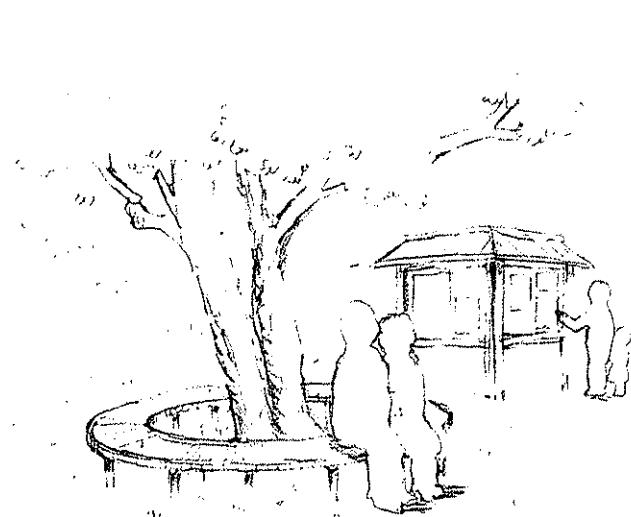
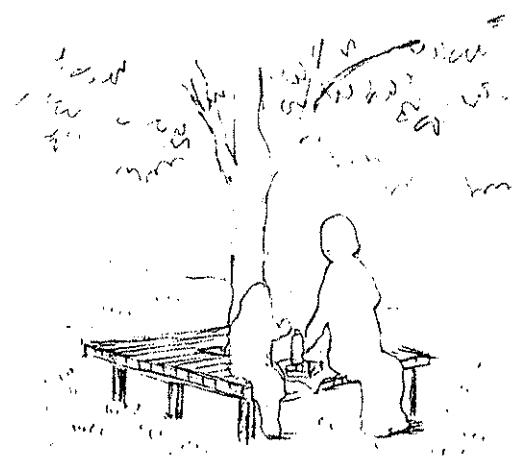
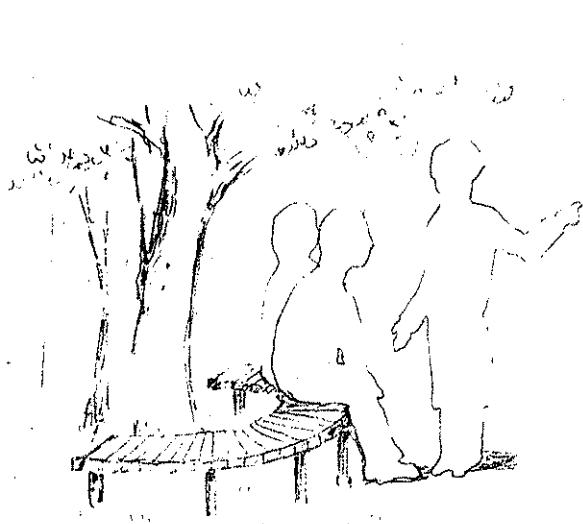
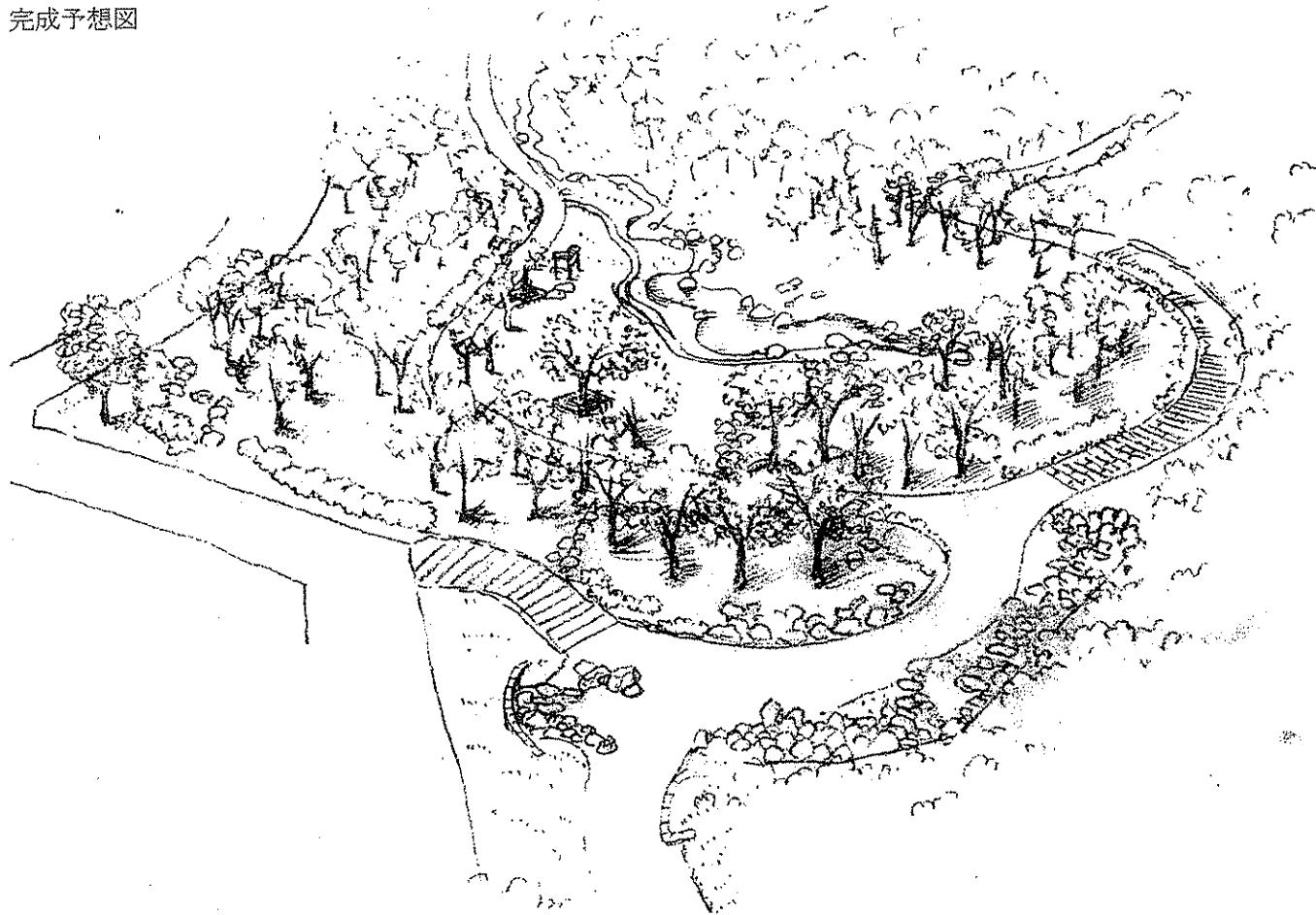
- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細 目	数 量	単 価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
池工事	土砂撤去	1式		100,000	住民参加*1
	コンクリートひび割れ コーティング	1式		200,000	
	粘土・塗作業	1式		100,000	住民参加*2
	雨水施設洗浄・ 土砂撤去	1式		450,000	住民一部参加*3
取水設備工事	井戸掘削	1式		500,000	含むボーリング調査
	井戸枠	1台		50,000	
	ポンプ架台	1台		200,000	
	ソーラポンプ	1台		100,000	
	ソーラパネル	2台	100,000	200,000	
	コントローラ	1台		100,000	
	パネル架台・基礎	1台		250,000	
	ポンプ配管	1式		50,000	
	据付工事	1式		100,000	
	調整	1式		50,000	
テッキ・掲示板工事	テッキ材料・組立	3式	120,000	360,000	住民一部参加*3
	掲示板	1台		90,000	
	基礎・据付工事	1式		250,000	
植栽・土留め工事	植栽	1式		150,000	住民一部参加*3
	土留め	1式		250,000	住民一部参加*3
設計・管理	実施設計	1式		450,000	
	施工管理			350,000	
諸経費		1式		530,000	
合 計				5,000,000	

* 1 住民参加作業とし、20人×2日、20人のうち10人は子供（小学生）とする。費用には、泥の運搬費、スコップなどの道具のレンタル費用を含んでいる。

* 2 住民参加作業とし、20人×2日、20人のうち10人は子供（小学生）とする。費用には、粘土、運搬費、道具のレンタル費用を含んでいる。

* 3 住民一部参加作業とし、5人×3日、とする



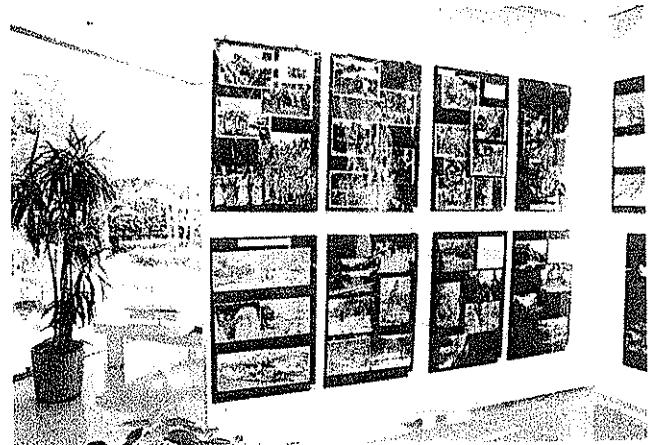
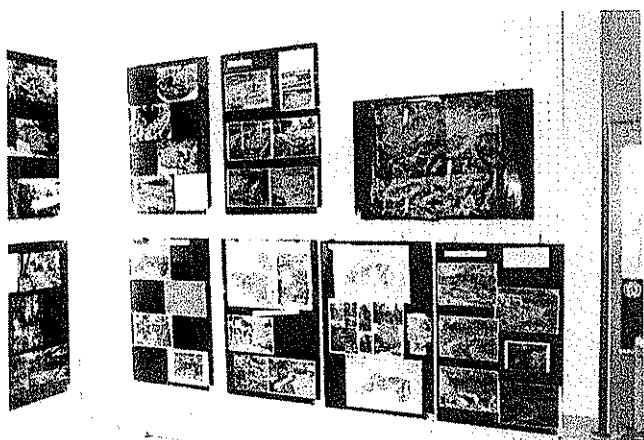
茅ヶ崎公園写真展



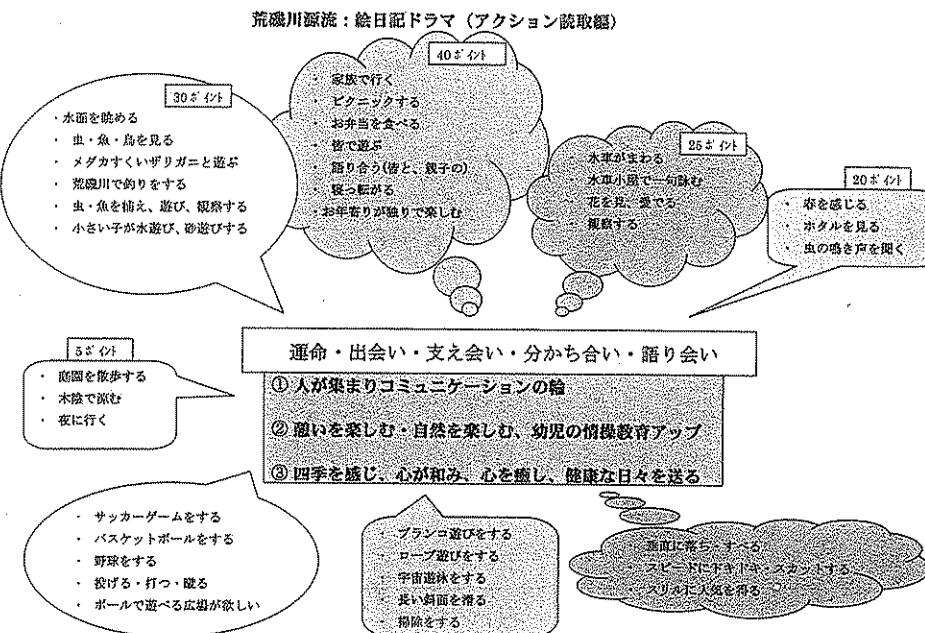
茅ヶ崎公園写真展

於：ボナージュ ロビー

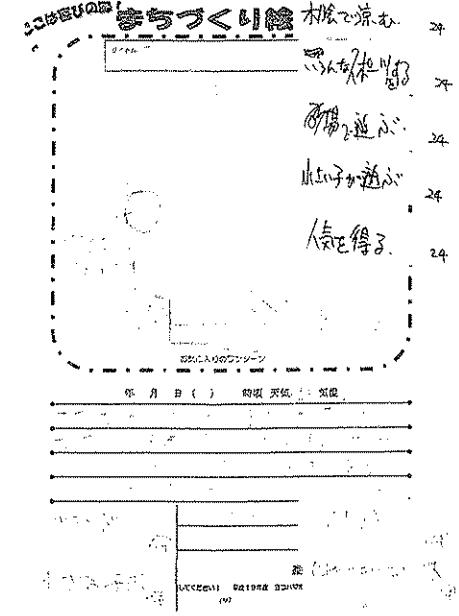
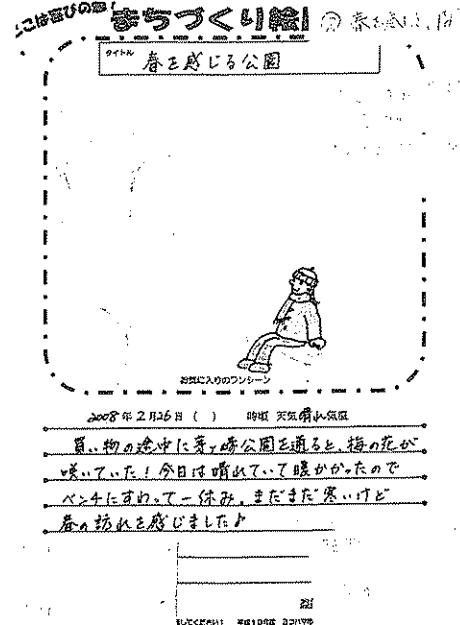
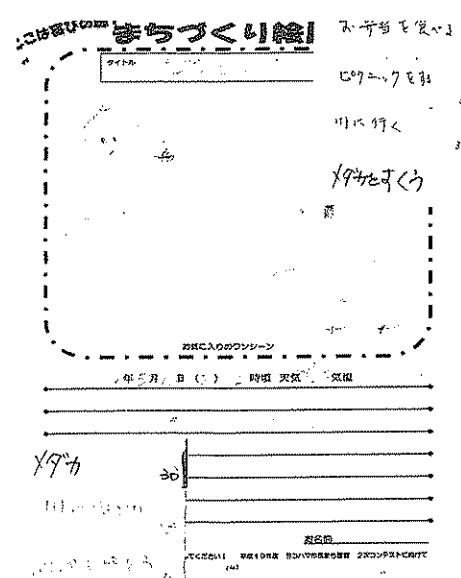
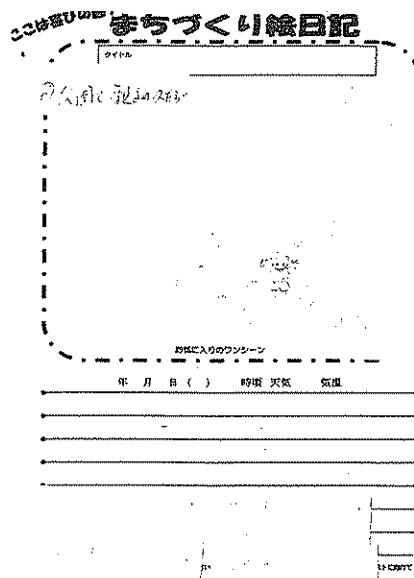
2007.12



絵日記ドラマ：情報の展開図／活動の動機情報



絵日記ドラマ



活動場所の情報

